

生活と融合するヒューマンインタフェースに向けて

Toward the Merger of Human Interface Technologies
with Daily Life平川 秀樹
HIRAKAWA Hideki

1980年代のパソコン(PC),90年代のインターネットに代表されるように,IT(情報技術)は,ビジネスや社会生活に大きな変化を与えながら加速度的に進展してきました。ヒューマンインタフェース(HI)技術は,こうしたITを多くの人々に開放し,社会インパクトを与えるという意味でイノベーションのキーとなっています。例えば,PCのGUI(Graphical User Interface)で多くのユーザーがPCを使いこなせるようになり,また,WWWブラウザの発明により,インターネットの世界が飛躍的に広がったと言えます。

現在,われわれは,インターネットという新メディアが生む種々の変革を日々体験しています。例えば,だれかがある製品をWWWで注文すると,それが部品メーカーの生産に瞬時に結び付くというようなB to C(Business to Consumer),B to B(Business to Business)を通したビジネスプロセスの革新,あるいは,世界に対する情報発信・収集を個人レベルで行える情報流通の革新などです。

こうした変化は,革命的变化と言えますが,ネットワーク社会の可能性を考えますと,今日のネットワークは,まだまだ不完全で,新たな進展が期待できます。マルチメディアデータの伝送といった量的進展はもちろんですが,携帯電話,デジタル放送などのインターネット化,Bluetooth™(注1)など近距離無線系の登場などにより,デジタル放送,モバイル,家庭内ネットワークなど,種々のネットワークが大融合し,新サービス,ひいては新社会のベースとなる可能性が高まっています。利用者側からは,PC,テレビ,携帯電話などが連携・融合し,家庭,オフィス,街,車・電車など,あらゆる日常生活場でITサービスを受けられるというように見えるでしょう。

こうした世界では,いつでも,どこでも,何にでも,だれにも利用できる新しいインタフェースが不可欠で,Microsoft®Windows®(注2)に代表される従来型インタフェースでは不十分です。“生活と融合する”HIは,こうした次世代のネットワークサービスを広く可能とする新しい技術で,インタラクション技術,個人や状況のセンシング・理解技術,コンテンツ処理・理解技術,などが重要になります。この特集では,次世代ネットワークを指向したHI技術やコンテンツ処理技術などについて取り上げています。

(注1) Bluetoothは,その商標権者が所有しており,当社はライセンスに基づき使用している。

(注2) Microsoft, Windowsは,米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標。